

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 47 号

第 47 週 (11 月 20 日 ~ 11 月 26 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 12月 1日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

感染性胃腸炎流行発生警報の発生 !!

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(11月13日～11月19日)の報告数よりさらに多くなり先週の約1.2倍増となっています。特に感染性胃腸炎で急増し、滋賀県の定点当たり患者数は22.50となり「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による**感染性胃腸炎の流行発生警報**が発生しています。

今週増加した疾患は、RSウイルス感染症、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎および水痘です。また、減少した疾患は、咽頭結膜熱、手足口病、突発性発しんおよび流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)です。その他の疾患については先週と同様の発生状況です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、五類感染症のアメーバ赤痢1名の届出がありました。

感染性胃腸炎の警報発生状況(第46～47週)

週	滋賀県	大津保健所	草津保健所	甲賀保健所	東近江保健所	彦根保健所	長浜保健所	高島保健所
	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数	定点当たり患者数
46週	18.66	19.00	20.50	9.25	38.60	3.00	8.00	33.50
47週	22.50	19.86	27.33	11.00	44.66	6.50	12.00	38.00

■:警報発生中

<<感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム>>

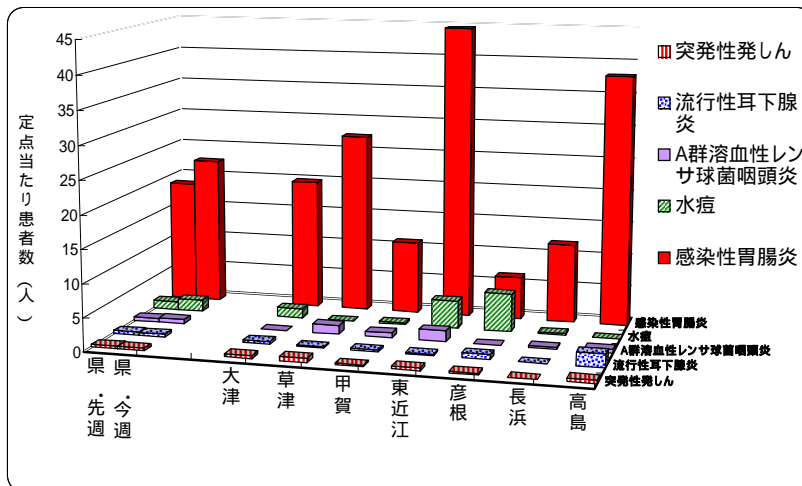
感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定しています。その基準値を超えた時に流行発生警報あるいは流行発生注意報という表現により流行状況の指標を示しているもので、都道府県として発令される「警報」、「注意報」とは異なります。

流行発生警報

感染性胃腸炎の場合、定点当たり患者数が20人以上という基準値を超えた時に発表されます。**流行発生警報**という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所感染症情報センター)参照
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第47週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、突発性発しんの順に多くなっています。

感染性胃腸炎は先週に引き続き増加しており、県全体の定点当たり患者数は非常に多くなっています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき、医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (47週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (47週)	全国 (47週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	1	46	0	54
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 6	442	^{(*)3} 7	556
三類感染症	腸チフス	0	0	67	0	50
	腸管出血性大腸菌感染症	0	52	3,680	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	1	61	0	40
	A型肝炎	0	21	305	1	168
	オウム病	0	0	21	1	34
	デング熱	0	0	53	1	73
	マラリア	0	0	57	0	66
	レジオネラ症	0	11	459	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	1	8	673	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	254	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	157	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	5	98	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	8	1,180	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	80	0	81
	梅毒	0	4	560	0	555
	破傷風	0	0	108	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	67	2	65
	急性脳炎	0	1	143	2	180

*1: 平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

*3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第47週(11/20～11/26) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: つつが虫病 18例	五類感染症: 梅毒 4例
二類感染症: 細菌性赤痢 2例	ライム病 1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
腸チフス 1例	日本紅斑熱 1例	後天性免疫不全症候群 12例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 38例	マラリア 1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例
四類感染症: A型肝炎 1例	レジオネラ症 11例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
狂犬病 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 7例	
	ウイルス性肝炎 2例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第42～47週、10/16～11/26)

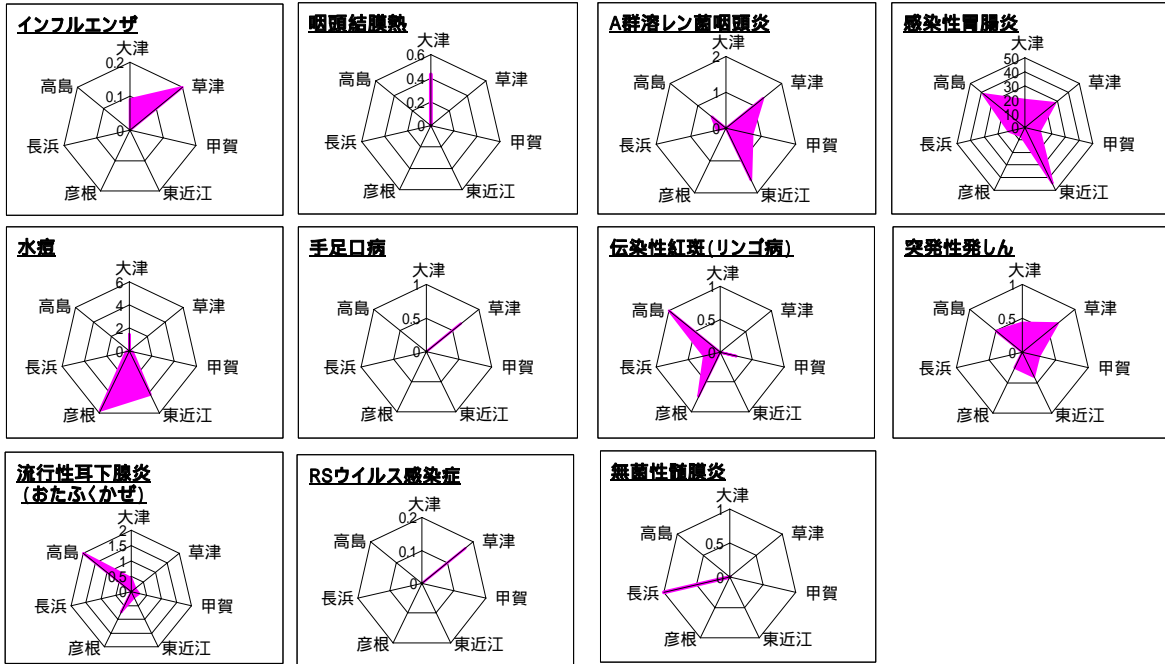
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	42週	43週	44週	45週	46週	47週	週				
	(10/16～)	(10/23～)	(10/30～)	(11/6～)	(11/13～)	(11/20～)	43	44	45	46	47
インフルエンザ	0	0	0	0	0.08	0.06					
RSウイルス感染症	0	0	0.03	0.06	0	0.03					
咽頭結膜熱	0.19	0.28	0.31	0.59	0.16	0.09					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	0.75	0.31	0.50	0.53	0.66					
感染性胃腸炎	2.28	3.25	4.88	10.09	18.66	22.50					
水痘	0.38	0.72	0.94	1.03	1.28	1.75					
手足口病	0.38	0.47	0.31	0.31	0.28	0.13					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.44	0.19	0.25	0.19	0.22	0.22					
突発性発しん	0.53	0.34	0.47	0.50	0.44	0.38					
百日咳	0	0	0	0.03	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0.03	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0.09	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.63	0.59	0.38	0.47	0.44	0.41					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.57	0.29	0.14	0.14	0.29	0					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0.29	0.14	0	0.14	0.14					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第47週, 11/20~11/26)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)		
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	0.06	0.09	0.20	0	0	0	0	0			
RSウイルス感染症	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0			
咽頭結膜熱	0.09	0.43	0	0	0	0	0	0			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66	0	1.33	0.75	1.60	0	0.25	0.50			
感染性胃腸炎	22.50	19.86	27.33	11.00	44.60	6.50	12.00	38.00			
水痘	1.75	1.43	0	0.25	4.20	5.75	0.25	0			
手足口病	0.13	0	0.67	0	0	0	0	0			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.22	0	0	0.25	0	0.75	0.25	1.00			
突発性発しん	0.38	0.43	0.67	0.25	0.40	0.25	0	0.50			
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0			
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0			
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.41	0.43	0.17	0.25	0.20	0.75	0	2.00			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0			
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0			

■ は定点当たり患者数が先週より増加、
■ は定点当たり患者数が非常に多い状態
0 5 10 15 20 25
定点当たり患者数(人)

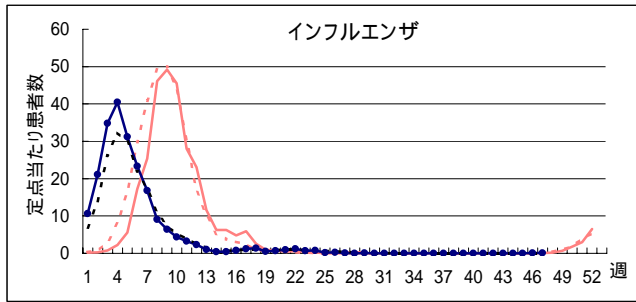
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



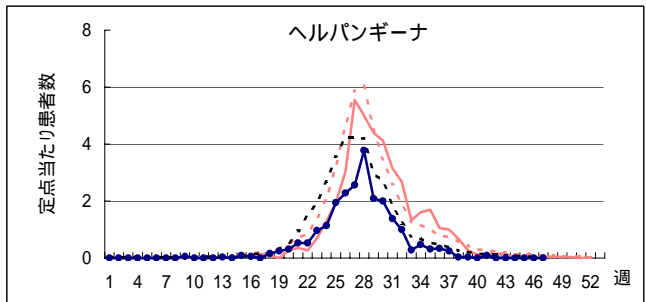
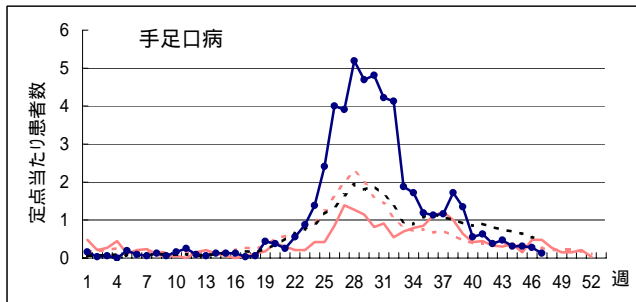
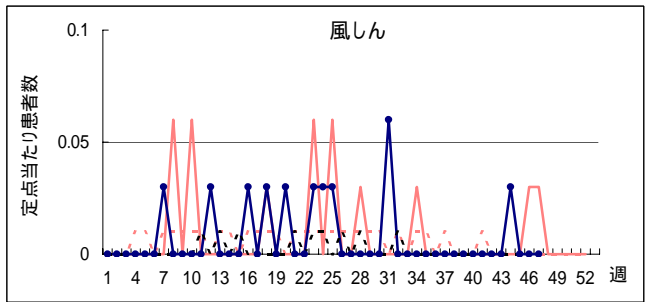
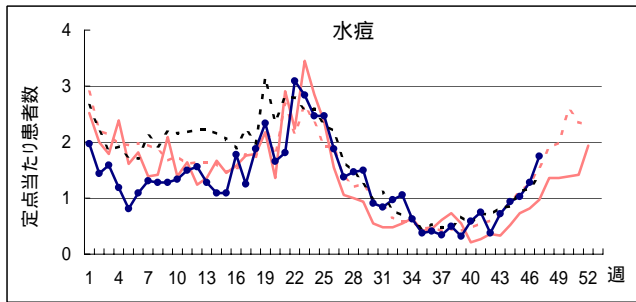
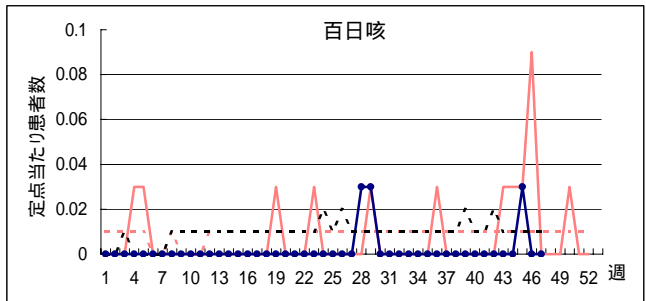
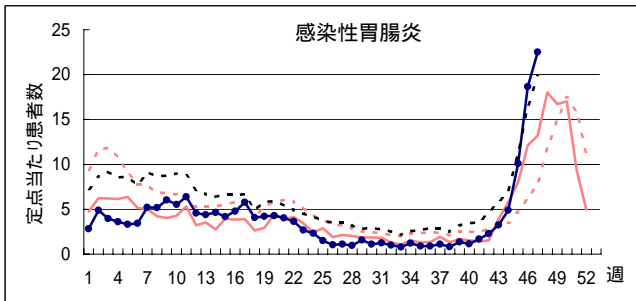
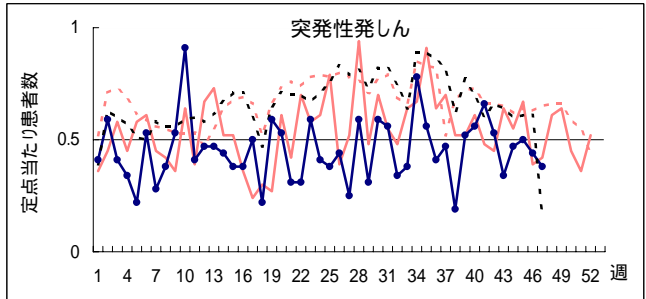
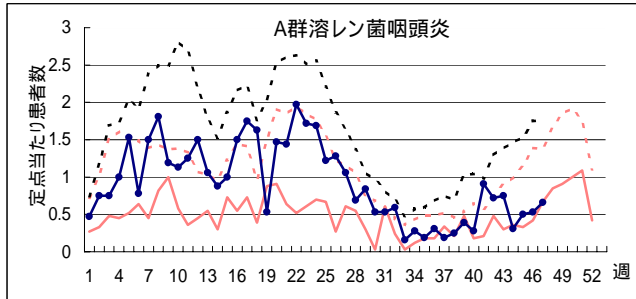
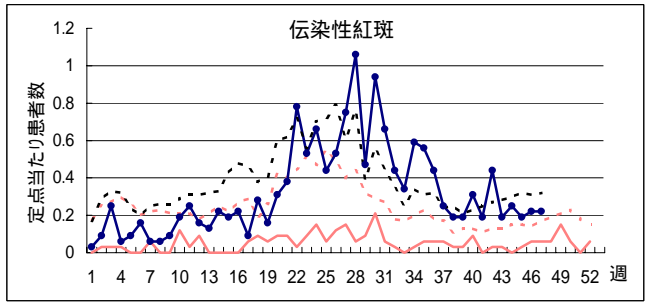
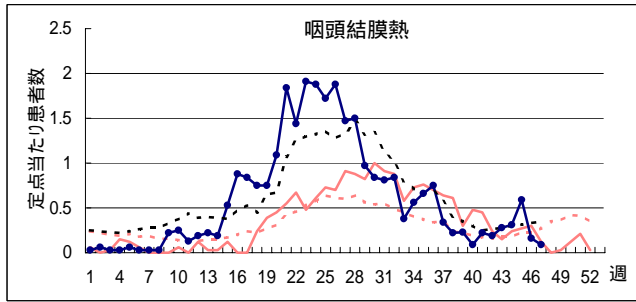
今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----大津および草津から報告されており、年齢は3歳、4歳および9歳です。
- 咽頭結膜熱-----大津から報告されていますが、県全体では先週に引き続き減少しています。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎-----草津で先週より増加し、県全体では草津および東近江で多くなっています。
年齢別発生状況は、1~6歳 71.4%、7~9歳 23.8%、10~14歳 4.8%です。
- 感染性胃腸炎-----すべての保健所管内で増加しています。特に大津、草津、東近江および高島の
定点当たり患者数が非常に多くなり、県内全域に感染性胃腸炎の警報が発令
されています。
- 水痘-----東近江および彦根で先週よりかなり多くなっています。
- 手足口病-----草津から報告されていますが、県全体では先週に引き続き減少しています。
- 伝染性紅斑-----先週とほぼ同様の発生状況です。
- 突発性発しん-----県全体では先週よりやや少なくなっています。
- 流行性耳下腺炎-----大津、彦根および高島で先週よりやや多くなっています。
- RSウイルス感染症-----草津から報告されています。
- 無菌性髄膜炎-----長浜から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第47週、H18.1.2～H18.11.26)



H17 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H18 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第47週、H18.1.2～H18.11.20)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国 - - - - -

